平成２９年度

市民と議会の対話集会報告書

■敷島地区　平成29年１１月　９日（木）敷島総合文化会館
■竜王地区　平成29年１１月１７日（金）竜王東児童センター

平成２９年 １１月

主催　甲斐市議会

目　　次

１　市民と議会の対話集会を実施して　・・・・・・・　１

２　敷島地区対話集会報告書　・・・・・・・・　２

３　敷島地区アンケート調査結果報告書　・・・・・・・　５

４　竜王地区対話集会報告書　・・・・・・・・　１０

５　竜王地区アンケート調査結果報告書　・・・・・・・　１３

市民と議会の対話集会を実施して

市民と議会の対話集会については、今年度で６年目、開催回数は１３回目及び１４回目となりました。

昨年度に引き続き、テーマを「まちづくり」とし、地元の皆様からの地域の課題などについて、意見交換（フリートーク）の時間を多くとり地区での対話集会として開催しました。

参加された市民の皆様からは、地域に密着した話題について、多くの意見をいただき、意見交換をすることができました。

また、今回も、プロジェクターを利用し「議会報告」を行いました。議会の役割、議会改革の取り組み、政務活動費の内容などは、議会だよりや市議会ホームページでも報告をしておりますが、今後もこのような集会の際には、より丁寧に、分かりやすく説明・報告をし、市民に開かれた議会を目指してまいります。

なお、今回の参加者を見てみると、50 歳代及び 60 歳代以上が大半を占めておりました。今後は幅広い年齢層の方々と対話が出来るように、呼びかけなどを工夫してまいり、様々な形での対話集会や意見交換会を実施し、市民の皆様からの貴重なご意見を、積極的に市政に届けてまいる所存であります。

議会改革特別委員会　委員長　保坂芳子

市民と議会の対話集会
議会と語ろう～敷島地区～　「まちづくり」　報告書

開催日時	平成２９年１１月９日（木）午後７時００分～８時４０分
会場	敷島総合文化会館　視聴覚室
参加者数	合計　１０　人　（男　９　人・女　１　人）

役割分担（◎：議会改革特別委員会委員）・出席議員　１３人			
班長	◎赤澤　厚　議員	記録係	◎松井　豊　議員
司会者	内藤　久歳　議員		藤原　正夫　議員
説明係	五味　武彦　議員		◎保坂　芳子　議員
	◎有泉庸一郎　議員	受付・アンケート係・マイク係	横山　洋介　議員
			◎三浦　進吾　議員
パソコン操作	長谷部 集　議員		山本　英俊　議員
		議長	小浦　宗光　議長
		副議長	米山　昇 副議長

次第	
1　開　会　（司会）	5　意見交換
2　開会あいさつ　（議長）	6　その他
3　議員の自己紹介（自己紹介）	7　終了のあいさつ　（司会）
4　議会報告　（説明係）	

質疑応答（要約）

No.	市民の質問・意見・要望・提言	議会の対応
1	議員年金制度は廃止になったということだが、現在受けている元議員の財源は。	財源は法律で地方自治体が負担することになっている。
2	今日の対話集会だが、もう少し幅広く地区を広げて参加者を多く集めてほしかった。	議会をより身近に感じてほしいということで、２年前から各自治会を対象に対話集会を実施している。

3	竜王駅は立派にできたが、南口は飲食店も少なく北口は広くて何もない。竜王駅の将来について伺いたい。	乗降客が少ないのがネックであり、キオスクも売り上げが少なく閉店。商工会を通じ、南口に出店したが、利用客不足で撤退した。その他商店街をとの話もあったがまとまらない。建物としての竜王駅は将来価値が出てくると期待しているが、活性化については、努力し続ける。市にも要請していく。 また、竜王駅活性化のため「魅力発信協議会」でイルミネーションをしている。自由通路を含め活性化の方向を議会としても努力したい。
4	甲斐市民バスの利用状況が少ない。車を小さくし幹線道路だけでなく細い道にも入れないか。	市民バスは５路線ある。ルートは大久保まで行くようになり、イオンの中まで伸ばした。自由乗降や停留所を動かすなどの課題はある。今後も市民バス運行状況を注視していく。
5	議会だよりの質問の中に図書館の正月開館の質問があったが、その結果はどうなったか。	正月に図書館で勉強したいとの要望があり質問した。図書館法があり職員の出勤が難しく実現できないとの答弁だった。
6	敷島総合文化会館の近所に住んでいるが、夜間自由に出入りできるのでオートバイや花火の音が大きく迷惑している。２４年１０月２１日、２５年１月２日、２５年４月２３日と市に電話しているが、「いい案がありません」といつも同じ回答だ。住民として夜は静かに眠りたい。何とかしてほしい。	駐車場内であり危険であれば、対応しなければならない。夜間の管理体制については確認させていただく。 （市当局の回答⇒午後１０時以降の管理は、駐車場を閉鎖する措置はとっておらず、敷島総合文化会館をはじめ、カルチャーパーク、島上条公園など、周辺施設での未成年のたまり場とならないよう、韮崎警察署と連携を取る中でパトロールの強化をお願いしている。）

7	西町スタンドからセブンイレブンまでの街路樹の件だが落ち葉の苦情が多い。自治会としては気を使い清掃等をやってきたが、対応について是非検討して実現してほしい。	県の管轄だが、前向きに検討されていて方針も決まった。木を抜くなり、植樹をやり直すなり、1，2年の内に始まる予定であり、推進したい。
8	河川清掃が毎年敷島では農業の予定に合わせて１２月初めだが、寒くない時期にしてもらえないか。	農業用水なので行政では決められない。自治会から要望として申請し市とも検討していけば変えていけるのではないかと思う。
9	荒川の遊歩道は利用客が多い。トイレがなく不便だが設置できないか。	荒川は県の管轄であり河川敷に建物はできないが、川辺町公園の方ならできるかもしれない。
10	山の手通り、登美の坂等の信号が渋滞の原因ではないか。中央道の側道を優先しているようであるので調べて改善してほしい。	県道及び信号については、県の公安委員会が掌握しており、市を通して県に改善を申し込んではどうかと思う。
11	甲斐市警察署の設置はどうなっているか。できれば敷島にあればいいが。	富士吉田署の後、甲斐警察署の設置になる。韮崎の幹線道路に近い所の条件があり、ラザウォーク前ＪＡ倉庫近くに着手することになる。韮崎も使うので県の方向はそうなる。
12	消防署も広域化された方が便利ではないか。	広域化の検討もしてもらったが、現時点では一本化は難しい。市民のための方向性を行政にも繰り返し訴えていく。

特記事項

未回答　事項　　なし

調査・検討　事項
調査：敷島総合文化会館駐車場の夜間の管理体制の確認

敷島地区アンケート集計結果

一般参加者１０人全員の皆さまからアンケートの回答をいただきました。

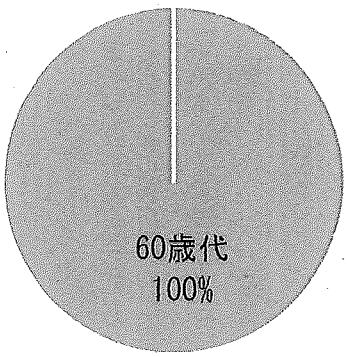
回答率は１００%でした。ご参加いただきました皆様、アンケートにご協力いただきました皆様、ありがとうございました。

設問の中で、複数回答を可としたものについては、回答者数が全体より多くなっています。

■年代

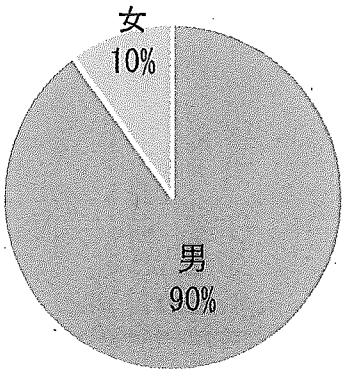
回答者の年代は、全員 60 歳代以上でありました。

年代	人数	割合
60 歳代以上	１０人	１００%
50 歳代	０人	０%
40 歳代	０人	０%
30 歳代	０人	０%
20 歳代	０人	０%
合計	１０人	100%



■性別

性別	人数	割合
男	９人	９０%
女	１人	１０%
合計	１０人	100%

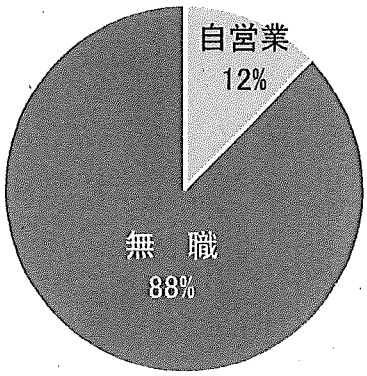


■職業

回答者の職業は、「無職」が８８％と最も多く、「自営業」が１２％の回答でした。

職業	人数	割合
会社員	０人	０％
自営業	１人	１２％
公務員	０人	０％
主婦	０人	０％
無職	７人	８８％
その他	０人	０％
合計	８人	100％

※無回答　２人

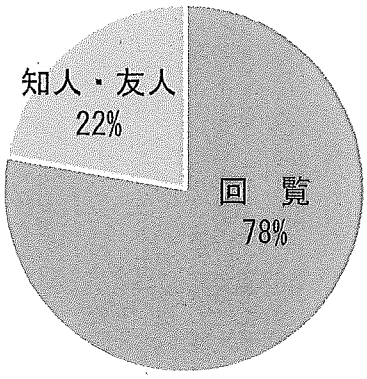


１．本日の対話集会の開催を何で知りましたか。（複数回答可）

開催を知った方法については、「回覧」により知った方が７８％と最も多く、「知人・友人」からが２％でした。

方　法	複数回答	割合
回　覧	７人	７８％
知人・友人	２人	２２％
議会広報	０人	０％
その他	０人	０％
合　計	９人	100％

※無回答　１人



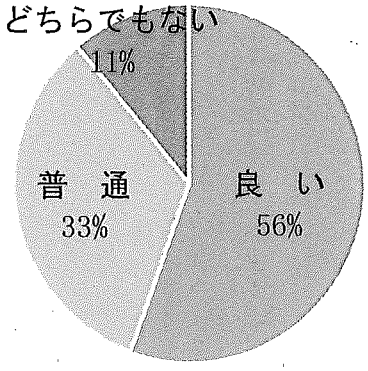
2．今回のテーマ「まちづくり」の内容はいかがでしたか。

（複数回答可）

テーマについては、８９％「良い・普通」という評価をいただきました。

テーマ	複数回答	割合
良　い	５人	５６％
普　通	３人	３３％
どちらでもない	１人	１１％
その他	０人	０％
合　計	９人	１００％

※無回答　１人



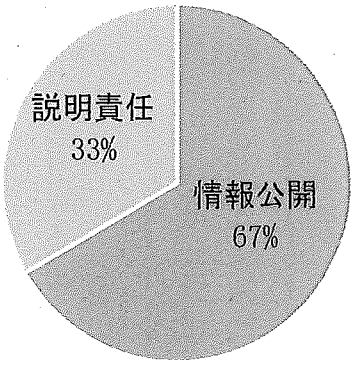
3．対話集会に参加して、今後の議会・議員に求めることは。

（複数回答可）

今後の議会・議員に求めることについては、「情報公開」が６７％、「説明責任」３３％でした。

議員に求めること	複数回答	割合
情報公開	６人	６７％
説明責任	３人	３３％
資質の向上	０人	０％
その他	０人	０％
合　計	９人	１００％

※　無回答２人・複数回答有

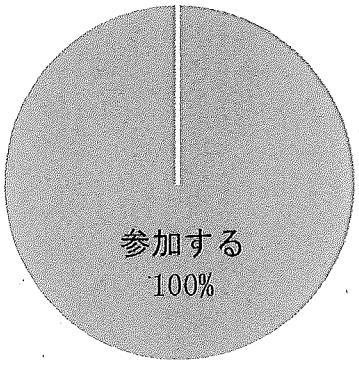


4．今後も参加されますか。

今後の対話集会に「参加する」に１００%の回答をいただきました。

今後の参加	人数	割合
参加する	8人	１００%
参加しない	０人	０%
どちらでもない	０人	０%
合　計	8人	100%

※　無回答２人

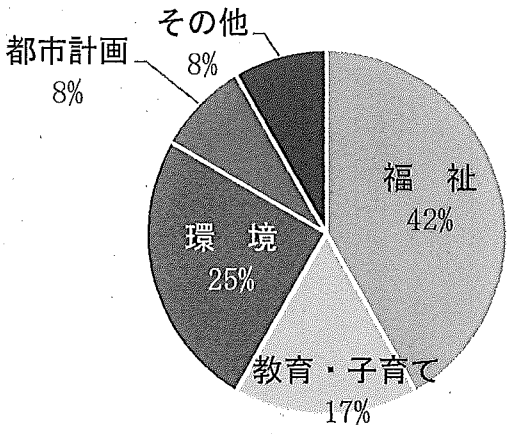


5．今後、取り上げて欲しいテーマは。（複数回答可）

今後、取り上げてほしいテーマとしては、「福祉」が４５%と最も多く、続いて、「環境」が２５%、「教育・子育て」が１７%、「環境」「都市計画」とも８%でした。

今後のテーマ	人数	割合
福祉	５人	４２%
教育・子育て	２人	１７%
財政全般	０人	０%
環境	３人	２５%
都市計画	１人	８%
その他	１人	８%
合　計	１２人	100%

※無回答　２人・複数回答有



自由記入欄

● テーマについて

高齢化対策（地域住民サイドからの行政）,ゴミの集荷や自治会活動へのアドバイスなどを取り上げてほしい。

● 「議会と語ろう～敷島地区～」について

初めて、「議会と語ろう」に参加しましたが、出た各意見を検討してほしい。

● 参加者について

すばらしい企画だが、あまりにも参加者が少ない。集客方法を再考してほしい。

ご意見・ご提言、ありがとうございました。

いただきましたご意見・ご提案等は、今後の議会活動の参考とさせていただきます。

市民と議会の対話集会
議会と語ろう～竜王地区～　「まちづくり」　報告書

開催日時	平成２９年１１月１７日（金）午後７時００分～８時４０分
会場	竜王東児童センター
参加者数	合計１６人　（男１４人・女２人）

役割分担（◎：議会改革特別委員会委員）・出席議員１４人

班長・パソコン操作	◎ 斉藤　芳夫　議員 金丸　幸司　議員	受付・会場整理・アンケート・マイク係	清水　正二　議員 池神　哲子　議員
司会者	樋泉　明広　議員		議員
説明係	滝川　美幸　議員		議員
	山本今朝雄　議員	オブザーバー（各委員長）	藤原正夫　委員長（建設経済）
			五味武彦　委員長（厚生環境）
記録係	金丸　寛　議員		長谷部集　委員長（総務教育）
	小澤　重則　議員	議長	小浦　宗光　議長
		副議長	米山　昇　副議長

次第

1　開会　（司会）
2　開会あいさつ　（班長）
3　議員の自己紹介
4　議会報告（説明係）
5　意見交換
6　その他
7　終了のあいさつ（司会）

質疑応答（要約）

No.	市民の質問・意見・要望・提言	議会の対応
1	災害が起きた時に市の災害対策本部と議会の災害対策本部はどのような連携をしているか。	議会の災害対策本部は、議員が各地区の災害状況を把握に努め、情報を収集する。その情報を市に伝え、市の災害本部が対策を講じる。またその対策について、議会の災害対策本部は、客観的に吟味する。
2	東日本大震災時、現地に行って感じたことは、災害対策本部の設立に自治体によって差があった。災害に慣れたNPOとの情報交換など連携ができているかの差であったようだ。甲斐市はどの程度想定し、連携をしているのか。	市では、自助、共助、公助の考えのもと、地域防災に力を入れ、マニュアルを策定している。現在、災害に慣れたNPOとの連携については、市の防災リーダー養成講習において、NPOの未来会の方が講習を行っている。また、市では、減災にむけ、様々な団体や医師会など協定を締結している。

3	災害は、地域の地形を考慮していく必要があるが、大雨の時の貢川の災害アセスメントをどのように進めているか。	河川の氾濫に対してのハザードマップなどはあるが、貢川の災害対策については確認する。なお、現在、長塚橋架け替え工事と併せて、貢川護岸工事を行っているが、時間雨量50ミリを想定して改修していると聞いている。 （※市当局の回答⇒現在、洪水ハザードマップにおいて、貢川の浸水想定区域を公表している。なお、山梨県に対し、貢川への水位計の設置を要望しているので、設置されれば、予測水位情報等から、避難勧告等、より的確な判断が行えるようになる。）
4	他市では太陽光発電パネルの増加で景観を損ねるなど反対運動がおきている。甲斐市でも起こりうるのか。またあらかじめ、条例を作るなどの対策は可能か。	太陽光発電施設に関する林地開発許可については、県知事の許可であり、市としては、地元の要望を踏まえ意見書を出すことしか出来ない。
5	信玄堤付近の河川内に鹿の親子がいるが、その対策はどうなっているか。	市当局に対応状況を確認する。 （※市当局の回答⇒河川管理者である国土交通省甲府河川国道事務所に鹿の生息環境となっている中州の解消を要望したが、莫大な費用を要するため施行は困難であると回答があった。鹿については、農作物等の被害等がないと捕獲できない状況である。）
6	老人クラブの役員をしているが、社会福祉協議会の人員が削減されているため、役員の事務の負担が大きくなっている。役員の負担軽減のため、長寿推進課の職員の増員をお願いしたい。	市老人クラブ連合会の厚生環境常任委員会との意見交換会を行い、老人クラブの加入増加にむけて、チラシの作成、市民バス及び温泉などの割引、公共施設の開放や相談窓口増設の検討、助成金対象事業の見直しなどの要望を福祉部に申し入れている。
7	高齢者福祉大会の廃止にあたり他の自治会の状況は。	いきいきサロンを活用するなかで、類似の活動をしている自治会もある。古村区の例でいえば、30～40人で健康体操や落語会を実施している。
8	福祉バスの利用が1回だけの使用となっているためもっと使えるようにして欲しい。	議会として利用状況を確認する。 （※市当局の回答⇒現在、市の福祉バスは、保育園、小・中学校等の使用が前提

		となることから、使用可能団体は限られた日数での使用となり、また、時期により運転手の確保が困難となる。公平使用の観点から、使用する方に使用制限のご協力をいただいている。なお、平成３０年度からは、市のバスを「公用バス」に名称を改める。）
9	田富町敷島線の富竹工区Ｉ区の進捗状況と開通の時期はどうなっているか。また、大弐学問通りの扱いについては。	田富町敷島線の富竹工区Ｉ区は、現在、設計等が終わり用地買収に取り掛かっていると聞いている。用地買収はH32年頃までかかり、バイパスまでの供用開始は、H35 年度を目指している。なお、富竹工区Ⅱ区および仲新居工区は同時に進めており、H29 から H30 頃まで設計や測量、H34年頃までに用地買収を行い、H38年の供用開始を目指しているようである。大弐学問通りは、国道と県道との接点は、平面交差ができないため、一方通行にならざるをえないようである。
10	道路の排水がうまく出来ていない箇所があるので、確認していただき、対策をお願いしたい。	議会の決算審査特別委員会でも要望がでており、予算措置を執行側へ要請している。

特記事項

未回答　事項
調査・検討　事項 貢川の災害対策の確認、信玄堤付近の河川内にいる鹿の対応策の確認、福祉バスの利用状況の確認

竜王地区アンケート集計結果

一般参加者 16 人のうち、16 人の皆さまからアンケートの回答をいただきました。

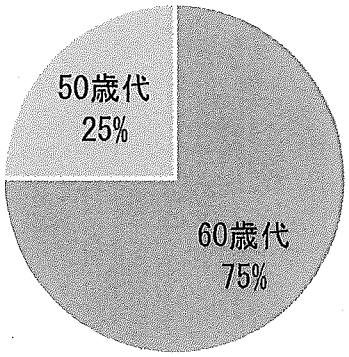
回答率は 100%でした。ご参加いただきました皆様、アンケートにご協力いただきました皆様、ありがとうございました。

設問の中で、複数回答を可としたものについては、回答者数が全体より多くなっています。

■年代

回答者の年代は、60 歳代以上と 50 以上のみであり、「60 歳代以上」が大部分を占めました。「40 歳代以下」の参加者は0%でした。

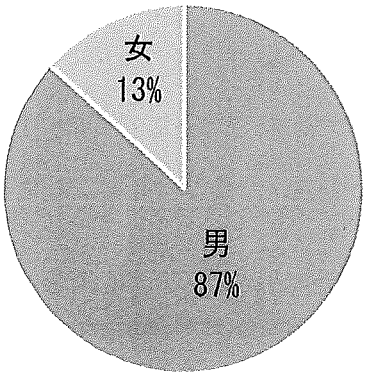
年代	人数	割合
60 歳代以上	12 人	75%
50 歳代	4 人	25%
40 歳代	0 人	0%
30 歳代	0 人	0%
20 歳代	0 人	0%
合計	16 人	100%



■性別

回答者の性別は、男性が多くを占めていました。

性別	人数	割合
男	13 人	87%
女	2 人	13%
合計	15 人	100%



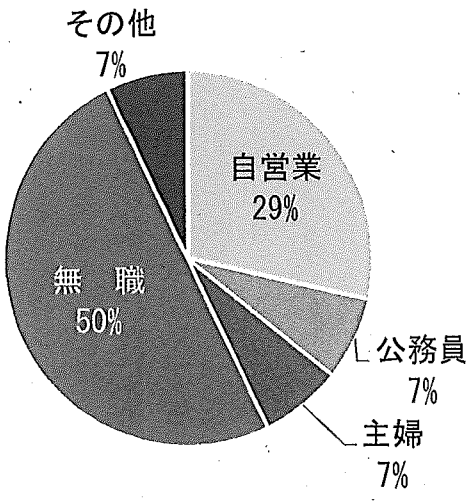
※無回答　1 人

■職業

回答者の職業は、「無職」が50%と最も多く、続いて「自営業」が29%の回答でした。

職業	人数	割合
会社員	0人	0%
自営業	4人	29%
公務員	1人	7%
主婦	1人	7%
無職	7人	50%
その他	1人	7%
合計	14人	100%

※無回答2人

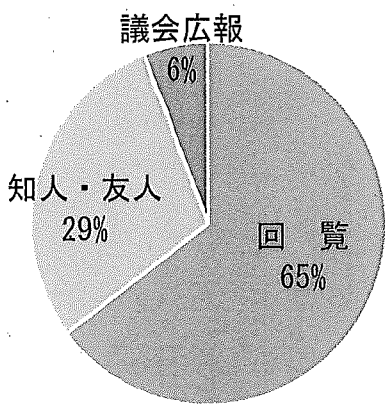


1．本日の対話集会の開催を何で知りましたか。（複数回答可）

開催を知った方法については、「回覧」により知った方が65%と最も多く、次に、「知人・友人」からが29%と続きました。

方　法	複数回答	割合
回　覧	11人	65%
知人・友人	5人	29%
議会広報	1人	6%
その他	0人	0%
合　計	17人	100%

※無回答1人、複数回答有

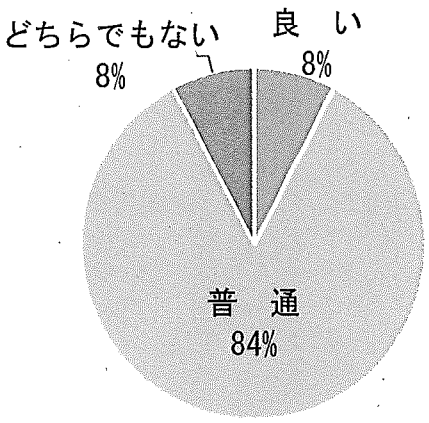


2．今回のテーマ「まちづくり」の内容はいかがでしたか。

（複数回答可）

テーマについては、92%の皆さんに、「良い・普通」という評価をいただきました。

テーマ	複数回答	割合
良　い	1人	8%
普　通	11人	84%
どちらでもない	1人	8%
その他	0人	0%
合　計	13人	100%



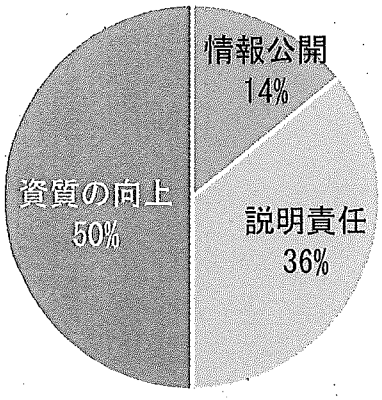
※無回答３人

3．対話集会に参加して、今後の議会・議員に求めることは。

（複数回答可）

今後の議会・議員に求めることについては、「資質の向上」が50%と最も多く、「説明責任」36%、「情報公開」が14%と続きました。

議員に求めること	複数回答	割合
情報公開	2人	14%
説明責任	5人	36%
資質の向上	7人	50%
その他	0人	0%
合　計	14人	100%

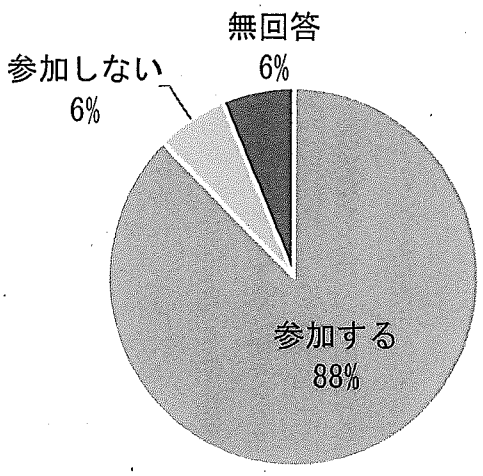


※無回答３人　複数回答有

4．今後も参加されますか。

今後の対話集会に「参加する」に88%の回答をいただきました。

今後の参加	人数	割合
参加する	14人	88%
参加しない	1人	6%
その他	0人	0%
無回答	1人	6%
合　計	16人	100%

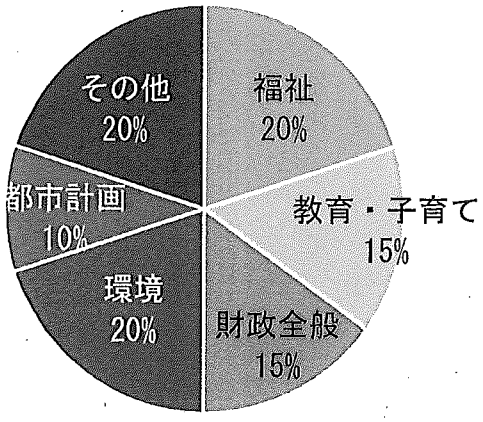


5．今後、取り上げて欲しいテーマは。（複数回答可）

今後、取り上げてほしいテーマとしては、「福祉」「環境」ともに 20%の回答をいただきました。

今後のテーマ	人数	割合
福祉	4人	20%
教育・子育て	3人	15%
財政全般	3人	15%
環境	4人	20%
都市計画	2人	10%
その他	4人	20%
合計	20人	100%

※無回答３人　複数回答有



自由記入欄

●テーマについて

「防災、水害関係」についてテーマとして取り上げてほしい。

●「議会と語ろう～竜王地区～」について

1　質問が偏りすぎた。

2　開催時期、時間等を検討してほしい。

3　人を集める方法を検討するべき。

●要望

長寿推進課職員を増員し、長寿会等の補助、援助をしてもらいたい。

ご意見・ご提言、ありがとうございました。

いただきましたご意見・ご提案等は、今後の議会活動の参考とさせていただきます。